

「生命保険の証券化とその証券化商品の価格付け」

小島 茂*

2004年9月30日投稿

2005年2月18日受理

概要

本研究は、生命保険会社の死亡リスクを資本市場に移転させる証券化とその証券化商品である死亡リスク債券の価格付けについて取り扱ったものである。2003年12月にSwiss Reが実施した死亡リスクの証券化を参考に、証券化モデルおよび死亡リスクの原因となる死亡数の確率過程モデルを定式化し、その確率過程とオプション理論を用いて、死亡リスク債券に内包する定期保険を原資産とする派生資産のストップロス再保険について、無裁定理論価格モデルを提案した。

キーワード：

資本市場

死亡リスク移転

確率過程

オプション理論

無裁定理論価格

*東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社
〒150-0012 東京都渋谷区広尾 5-6-6 広尾プラザ
email: shigeru.kojima@tmn-financial.co.jp